

令和6事業年度

事業計画及び収支予算書

公益財団法人 市原市文化振興財団

## 令和6事業年度事業計画 概要

公益財団法人市原市文化振興財団（以下「財団」という。）は、市原市の文化振興を担う唯一の公益法人として、「市原市文化振興計画」の基本理念である「ひと輝き まち輝く 文化の香り高いまち いちはら」を念頭に置き、行政や市民をはじめ、各種文化団体等と連携・協力しながら市内の芸術文化振興を実施してまいります。

令和6事業年度については、市原市市民会館（以下「市民会館」という。）が市内文化振興の拠点として開館して以来、50周年の節目を迎えることから、市原市文化団体連合会と協働し拡大して実施する文化芸術ワークショップや、市民が気軽に参加することが出来る市民参加型事業、市原市に縁のある著名人を迎えての公演等の市民会館50周年記念事業を実施してまいります。また、SNS等を効果的に活用した情報発信や広告宣伝を行い、市民の皆様がより身近に文化芸術に親しむ機会を提供することが出来るよう、様々な世代を対象に工夫を凝らした文化事業等を企画・実施してまいります。

自主文化事業では、令和5事業年度に引き続き、中学校の文化部活動の地域へのスムーズな移行に繋げることを目的とした「市原市中学生吹奏楽地域活性化事業」や、市内の小学校や商業施設等に出向く「出前講座サイエンスショー」、「伝統芸能普及事業」、「市民力活用事業まちくる！」などの事業を継続していきます。一方、指定管理文化事業では、多様なジャンルや様々な世代を対象にした鑑賞型事業を行うほか、新進芸術家を目指す参加者に、質の高いプロによる実践的な講習会を行う「芸術家支援・育成事業」や、千葉県に縁のある若手演奏家をメインとした地元演奏家に公演の機会を提供する「音楽家支援コンサート」など、次代を担う芸術家等を育成することを目的とした事業を展開してまいります。

市民会館の指定管理については、第四期指定管理期間における4つの運営方針である「市原市の文化振興の拠点として市民が身近に感じることが出来る施設運営」「文化振興につながる鑑賞事業の実施」「文化芸術に携わる人材の育成・支援」「持続可能な文化振興のための組織体制の確立」を基本として、施設の設置目的を達成し、その特性を最大限に活かしながら、更なる市民サービスの向上に繋げるとともに、安心・安全に市民が市民会館施設を使用できるよう管理運営に努めてまいります。

令和6事業年度の事業計画は、次に定めるところによる。

## I 公益目的事業

芸術文化、生涯学習及びコミュニティの振興に関する事業で、文化の香り高いまちづくり形成のための基盤及び環境形成を推進すること、地域コミュニティに根ざした生涯学習事業を推進することにより、心豊かで活気に満ちた市民生活の実現に寄与することを目的に実施します。

### 1 文化事業

#### (1) 自主文化事業

財団の自主事業として実施する文化事業で、市内全域を視野に入れたアウトリーチ型の公演や鑑賞型の公演、文化部活動の活性化を図る事業、文化芸術に携わる人々を支援・育成する事業など、さまざまな事業を年間16事業実施します。

#### (2) 指定管理文化事業

市民会館施設の設置目的を達成するための事業で、優れた芸術文化を創造・鑑賞・体験する機会を提供するために、市民会館施設を市原市の文化の拠点と位置づけ、公演等を年間15事業実施します。

#### (3) 受託文化事業

市原市から「更級日記千年紀講演会」及び「更級日記千年紀文学賞授賞式」の運營業務を受託します。

### 2 施設管理運営事業

市原市から指定管理者の指定を受けて管理・運営を行っている市民会館施設を、市内の文化振興の拠点として適正に維持管理し、公益目的事業の内容に沿って施設貸出を実施するほか、利用者へのサービス向上と利便性の向上、専門的人材による知識や技術等の供与を行う事業を実施します。

## II 収益目的事業

### 1 宴会室における飲食提供事業

令和6事業年度の宴会室については、会議室棟3階を使用してきた新型コロナウイルスワクチン事務局とコールセンターの機能を4階宴会室に移し、引き続き使用する予定です。その後につきましては、新たな利用形態も含め、市原市と宴会室の使用方法などを協議してまいります。

### 2 その他公益目的事業の推進に資する事業

#### (1) チケット受託販売事業

施設利用者へのサービスの充実を図り、広く舞台芸術の鑑賞の機会を促すため、当財団が主催する公演以外の公演のチケットの受託販売事業を実施します。

#### (2) 施設利用者の利便性向上のための事業

施設利用者の利便性向上のため、舞台看板、立て看板、飾花、ピアノ調律、弁当等の利用者サービスを提供する事業を実施します。

### Ⅲ その他の事業

市民会館において、施設利用者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸与を行う事業を実施します。

## 令和6事業年度 公益財団法人市原市文化振興財団 事業計画書

### I 公益目的事業

#### 1 文化事業

##### (1) 自主文化事業

##### ① 自主文化事業

公演日	実施場所	事業名	事業内容	対象年齢
通年	—	いちはら Artists Power	財団主催の事業や市民団体等が主催するイベントに出演していただける文化芸術アーティストを募集・登録し、アーティストに活躍の場を提供するほか、文化芸術の力で市原市をもっと元気にすることを目的とする育成型事業。	全世代
年2回	市内各所	まちくる！	「いちはら Artists Power」登録アーティスト等を活用し、市内各所でイベントを実施し、アーティスト育成及び市原市の芸術文化活動振興を目的とする育成・鑑賞型事業。	全世代
6・9・12・ 3月の第2 土曜日発行	—	文化情報紙 『おんぷ』	財団の文化事業の情報や市民会館のイベント情報等を掲載する文化情報紙を発行する広報事業。	全世代
通年	—	文化振興 ボランティア	財団が主催する事業において、運営をサポートしていただくボランティアを募集・登録することで、文化振興に参加する人材を育成する育成型事業。	高校生 以上
通年	—	SNS フォローアッ プ広報事業	SNSで発信する財団の文化事業の情報や市民会館のイベント情報等をより多くの人に届けられるようにフォロワー数を増やすことを目的とした広報事業。	全世代
令和6年 6月頃	市内 小学校	出前講座 サイエンスショー	市内各小学校に出向き、市原市の将来を担う子供達に科学のおもしろさを伝えるとともに不思議な体験から、児童達の自己啓発	小学生

			を促し、生涯学習の一助となることを目的とする生涯学習事業。	
6月頃	市内 小学校	伝統芸能普及事業	市内各小学校に出向き日本の伝統芸能を普及し、体験を交えて身近なものに感じられることを目的とする生涯学習事業。	小学生
7月28日	大ホール	フルート教室	木管楽器として人気のフルートに触れてみたいと考える子供たちにその機会を提供することで、文化芸術の振興を目的とする参加・体験型事業	小学生 以上
9月16日	大ホール	石田組コンサート	人気弦楽アンサンブルの公演を実施することで、市原市民に高度な舞台芸術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術の振興を目的とする鑑賞型事業。	全世代
5・9月頃	大ホール 及び 小ホール	市原市中学生吹奏 楽地域活性化事業	中学校の文化部活動の地域へのスムーズな移行に繋げることを目的とした事業。	中学生
令和7年 2月9日	大ホール	市民会館開館 50周年記念 事業	市民会館開館50周年を記念し、市原市に縁のある方を招聘することで、市原市民に生涯学習の場を提供することを目的とする鑑賞型事業。	全世代

## ②共催公演事業

公演日	実施 場所	事業名	事業内容
令和6年 5月19日	大ホール	杉山清貴& オメガドライブ コンサート	人気アーティストの公演を共催することで、市民が芸術文化に触れる機会を増やすことを目的とした鑑賞型事業。
7月21日	大ホール	稲川淳二の 怪談ナイト	豪華なセットと怪談話による公演を共催することで、市民が芸術文化に触れる機会を増やすことを目的とする鑑賞型事業。
10月19日	大ホール	オレンジレンジ コンサート	人気アーティストの公演を共催することで、市民が芸術文化に触れる機会を増やすことを目的とした鑑賞型事業。
12月15日	大ホール	市原市楽友協会 市民コンサート	市内の音楽愛好家団体の公演を共催することで、市民に音楽文化を広めることを目的とする鑑賞型事業。
令和7年 3月23日	大ホール	千葉交響楽団 特別演奏会	千葉県唯一のプロのオーケストラである千葉交響楽団の公演を共催することで、市民に音楽文化を広めること

			を目的とする鑑賞型事業。
--	--	--	--------------

### ③支援事業

支援事業は、文化団体等が実施する文化活動への音響、照明等の技術提供、助言等を行う事業で、主催団体からの依頼を受けて当財団が支援を行う事業。

### (2) 指定管理文化事業

公演日	実施場所	事業名	事業内容	対象年齢
令和6年 4月20日	大ホール	市民会館開館 50周年記念事業 お笑いライブ	市民会館開館50周年を記念し、市原市に縁のある人気ものまねタレントの公演を実施することで、市原市民に笑いや音楽に触れる機会を提供し、文化芸術の振興を目的とする鑑賞型事業。	全世代
6月1日	小ホール	県民芸術劇場 親子で楽しむ 室内管弦楽 コンサート	0歳からの子供を対象に室内楽コンサートを開催し、聴くだけでなく実際に楽器演奏体験をすることで、未来を担う子供達にクラシック音楽の素晴らしさを感じてもらうことを目的とする体験・鑑賞型事業。	全世代
6月8日	大ホール	森高千里 コンサート	人気アーティストの公演を実施することで、市原市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術の振興を目的とする鑑賞型事業。	全世代
6月頃	大ホール	音楽家支援 コンサート	千葉県に縁のある演奏家をメインにした千葉交響楽団によるクラシックコンサートで、地元演奏家に公演の機会を提供することにより県内から優秀な演奏家を輩出する土壌を育むことを目的とする支援・鑑賞型事業。	全世代
7月頃	大ホール 小ホール	市民会館 探検ツアー	市民会館の裏側をより深く知ってもらい、舞台技術や舞台芸術への興味・関心を啓発するために実施する参加・体験型事業。	小学生 以上
8月頃	大ホール 小ホール 会議室	市民会館開館 50周年記念事業 文化芸術 ワークショップ	市内文化団体と連携し、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造や地域文化の活性化につなげることを目的としたワークショップを記念事業として拡大して実施する育成型事業。	全世代

9月頃	大ホール	市民会館開館 50周年記念 市民参加型事業	市民が気軽に参加できる事業を企画し、市民と作り上げる参加型事業。	全世代
9月～12月	大ホール 小ホール 会議室棟	市原市文化祭	地域の伝統や文化を育み伝承していくため、市民が文化活動で鍛錬した成果発表の場を設けることで、市民文化活動の活性化を図ることを目的とし、市民と協働し元気なふるさとづくりを目指す参加・鑑賞型事業。市民会館では次の行事を開催する。 9/29 三曲大会 (小ホール) 合唱祭 (大ホール) 10/5～6 工芸展 (会議室棟) 10/12 謡曲大会 (小ホール) アンサンブルフェスタ (大ホール) 10/13 音の輪きずな祭 (大ホール) 10/20 短歌大会 (会議室棟) 吟詠剣詩舞大会 (小ホール) 民舞大会 (大ホール) 11/2 俳句大会 (会議室棟) 11/10 茶会 (会議室棟) 民謡秋まつり (小ホール) ハワイアンフラ祭 (大ホール) 11/24 郷土芸能大会 (小ホール) 12/8 歌謡祭 (小ホール) バレエ公演 (大ホール)	全世代
10月31日 11月1日	大ホール	生涯学習支援 (市原市小学校音楽発表会、市原市中学校音楽発表会、特連文化フェスティバル)	(小中学校音楽発表会) 市内の小・中学生が芸術文化活動の成果を発表する場を設け、音楽芸術の向上を図ることを目的とする参加・鑑賞型事業。	全世代
12月13日			(特連文化フェスティバル) 市内小中学校特別支援学級及び千葉県立市原特別支援学校の学生が日頃の学習や文化的活動を発表する場を設け、芸術文化に親しむことで地域コミュニティの交流と教育の向上並びに福祉の増進を図ることを目的とする参加・鑑賞型事業。	全世代

11月3日	大ホール	市民の日記念 夢の架け橋コンサート	市内の小中学校・高等学校吹奏楽部及び合唱部で、各種大会及び音楽コンクールなどに出場し各賞に輝いた学校にその成果を披露できる場を提供するとともに、市民がその演奏や合唱を鑑賞することで、音楽芸術文化の向上を目的とする参加・鑑賞型事業。	全世代
12月頃	大ホール	クラシックコンサート	クラシック音楽の公演を実施することで、市原市民に高度な芸術音楽に触れる機会を提供し、文化芸術の振興を目的とする鑑賞型事業。	小学生以上
12月頃	大ホール	親子劇場	優れた舞台芸術の公演を実施することで、これからの未来を背負って立ついちはらの子供たちに生涯学習の機会を提供するとともに、文化芸術の振興を目的とする鑑賞型事業。	小学生以上
令和7年 2月頃	小ホール	いちはら寄席	日本の伝統話芸である落語を鑑賞する場を提供し、高い芸術性を備えた娯楽に触れる機会をつくとともに、豊かな文化と芸術の振興を目的とする鑑賞型事業。	全世代
未定	大ホール	芸術家支援・育成 事業	新進芸術家等を目指す参加者に、質の高いプロによる実践的な講習会を提供することで、次代を担う芸術家を育成することを目的とする支援・育成事業。	全世代
未定	大ホール	スマイル コンサート	人気アーティストの公演を実施することで、市原市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術の振興を目的とする鑑賞型事業。	全世代

(3) 受託文化事業

公演日	実施 場所	事業名	事業内容
令和6年 9月頃	小ホール	更級日記千年紀 講演会	市原市の主催する「更級日記千年紀講演会」の運営業務を受託する事業。
11月頃	小ホール	更級日記千年紀 文学賞授賞式	市原市の主催する「更級日記千年紀文学賞授賞式」の運営業務を受託する事業。



## 2 施設管理運営事業

### (1) 施設管理及び施設貸出

#### ①ホール・会議室等の貸出業務

(貸出目標件数)

(単位：件)

施設名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
大ホール	10	6	9	24	17	18	17	29	22	13	14	13	192
小ホール	20	18	12	27	18	20	25	24	19	19	18	18	238
会議室等	106	98	114	135	102	116	121	119	96	104	110	94	1,315
宴会室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※令和6事業年度の宴会室は、市原市と使用方法などを協議し、貸出を決定していく予定。

#### ②保守点検・管理業務委託

番号	業務委託名
1	建物管理業務委託
2	緑地管理業務委託
3	消防設備保守業務委託
4	昇降機保守業務委託
5	吸収冷温水機保守業務委託
6	ホール舞台保守業務委託
7	ホール照明保守業務委託
8	放送装置保守業務委託
9	ピアノ保守業務委託
10	電話交換機設備保守業務委託
11	一般廃棄物処理業務委託
12	産業廃棄物処理業務委託
13	ストレージタンク性能検査に伴う受検準備整備業務委託
14	エネルギー施設蒸気ボイラ点検業務委託
15	窒素酸化物濃度測定業務委託
16	飲料水水質検査委託
17	簡易専用水道検査委託
18	舞台運営業務委託

## II 収益目的事業

### 1 宴会室における飲食提供事業

令和6事業年度の宴会室については、会議室棟3階を使用してきた新型コロナウイルスワクチン事務局とコールセンターの機能を4階宴会室に移し、引き続き使用する予定です。

その後につきましては、新たな利用形態も含め、市原市と宴会室の使用方法などを協議してまいります。

## 2 その他公益目的事業の推進に資する事業

### (1) チケット受託販売事業

事業名	内 容
チケット受託販売事業	施設利用者へのサービスの充実を図り、広く舞台芸術の鑑賞の機会を促すため、当財団が主催する公演以外のチケットを受託販売する事業を実施する。

### (2) 施設利用者の利便性向上のための事業

事業名	内 容
施設利用者の利便性向上のための事業	市民会館において、施設利用者の利便性向上とサービスの充実を図るため、看板、飾花、ピアノ調律、弁当等の利用者サービス事業を実施する。

## III その他の事業

事業名	内 容
その他の事業	施設利用者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出・維持管理を行う事業を実施する。

## IV その他

### 1 理事会及び評議員会等の開催予定

会議名	実 施 予 定	備 考
理事会	5月、2月	
評議員会	5月	
会計監査	5月	監事による決算監査

### 2 職員研修実施予定

研 修 名	実施予定回数
全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会	年1回
関東甲信越静ブロックアートマネジメント研修会（自主事業・管理部門）	年2回
全国劇場・音楽堂等技術職員研修会	年1回
関東甲信越静ブロック技術職員研修会	年1回
千葉県公立文化施設協議会技術職員研修会	年1回
ちば文化振興ネットワーク協議会	年4回
その他、文化振興・施設管理・財団運営に必要な研修	適宜

# 令和6事業年度公益財団法人市原市文化振興財団収支予算書

令和6事業年度公益財団法人市原市文化振興財団収支予算は、次に定めるところによる。

## 収支予算書総括表（損益方式）

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

（単位：円）

科 目	当年度	前年度（補正後）	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,000	1,000	0
基本財産受取利息	1,000	1,000	0
特定資産運用益	10,000	10,000	0
特定資産受取利息	10,000	10,000	0
事業収益	260,604,000	267,271,500	△ 6,667,500
施設管理事業収益	149,401,000	151,351,000	△ 1,950,000
指定管理文化事業収益	47,820,000	57,070,000	△ 9,250,000
自主文化事業収益	7,145,000	1,247,500	5,897,500
受託文化事業収益	2,037,000	3,052,000	△ 1,015,000
施設貸出事業収益	49,801,000	50,451,000	△ 650,000
飲食提供事業収益	0	0	0
受託販売事業収益	2,000,000	2,000,000	0
利便性向上事業収益	2,400,000	2,100,000	300,000
雑収益	2,000	2,000	0
雑収益	1,000	1,000	0
受取利息	1,000	1,000	0
経常収益計	260,617,000	267,284,500	△ 6,667,500
(2) 経常費用			
事業費	283,103,000	299,956,000	△ 16,853,000
出演料	47,810,000	51,617,000	△ 3,807,000
仕入	800,000	800,000	0
給料手当	79,023,000	78,746,000	277,000
役員報酬	4,711,000	4,602,000	109,000
退職給付費用	5,643,000	10,700,000	△ 5,057,000
法定福利費	13,641,000	13,501,000	140,000
福利厚生費	613,000	594,000	19,000
旅費交通費	250,000	202,000	48,000
光熱水費	38,000,000	40,600,000	△ 2,600,000
消耗品費	5,430,000	5,080,000	350,000
印刷製本費	62,000	91,000	△ 29,000
図書購入費	80,000	80,000	0
委託料	62,569,000	63,624,000	△ 1,055,000
賃借料	5,545,000	9,443,000	△ 3,898,000
燃料費	71,000	71,000	0
広告宣伝費	6,496,000	6,766,000	△ 270,000

通信運搬費	1,747,000	1,719,000	28,000
租税公課	258,000	320,000	△ 62,000
修繕費	4,000,000	4,000,000	0
支払手数料	3,776,000	4,523,000	△ 747,000
負担金	231,000	231,000	0
経理費	691,000	691,000	0
保険料	360,000	386,000	△ 26,000
雑支出	820,000	1,013,000	△ 193,000
減価償却費	476,000	556,000	△ 80,000
管理費	2,484,000	2,575,000	△ 91,000
給料手当	799,000	796,000	3,000
役員報酬	453,000	443,000	10,000
退職給付費用	57,000	110,000	△ 53,000
法定福利費	138,000	137,000	1,000
福利厚生費	7,000	6,000	1,000
旅費交通費	45,000	45,000	0
修繕費	150,000	250,000	△ 100,000
印刷製本費	135,000	158,000	△ 23,000
交際費	30,000	30,000	0
消耗品費	50,000	50,000	0
広告宣伝費	250,000	150,000	100,000
研修費	100,000	150,000	△ 50,000
保険料	70,000	70,000	0
雑支出	200,000	180,000	20,000
経常費用計	285,587,000	302,531,000	△ 16,944,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 24,970,000	△ 35,246,500	10,276,500
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 24,970,000	△ 35,246,500	10,276,500
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 24,970,000	△ 35,246,500	10,276,500
一般正味財産期首残高	115,373,796	150,620,296	△ 35,246,500
一般正味財産期末残高	90,403,796	115,373,796	△ 24,970,000
II 指定正味財産増減の部			
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	93,403,796	118,373,796	△ 24,970,000

収支予算の事業別区分経理の内訳表  
令和6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計					法人会計	合計
	公1	小計	収1	収2	他1	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	1,000	1,000	0	0	0	0	0	0	1,000
基本財産利息収益	1,000	1,000					0		1,000
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000
特定資産利息収益		0					0	10,000	10,000
事業収益	206,403,000	206,403,000	0	4,400,000	49,801,000	0	54,201,000	0	260,604,000
施設管理事業収益	149,401,000	149,401,000					0		149,401,000
指定管理文化事業収益	47,820,000	47,820,000					0		47,820,000
自主文化事業収益	7,145,000	7,145,000					0		7,145,000
受託文化事業収益	2,037,000	2,037,000					0		2,037,000
施設貸出事業収益					49,801,000		49,801,000		49,801,000
飲食提供事業収益			0				0		0
受託販売事業収益				2,000,000			2,000,000		2,000,000
利便性向上事業収益				2,400,000			2,400,000		2,400,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	2,000	2,000
雑収益		0					0	1,000	1,000
受取利息		0	0				0	1,000	1,000
<b>経常収益計</b>	<b>206,404,000</b>	<b>206,404,000</b>	<b>0</b>	<b>4,400,000</b>	<b>49,801,000</b>	<b>0</b>	<b>54,201,000</b>	<b>12,000</b>	<b>260,617,000</b>
(2) 経常費用									
事業費	232,895,000	232,895,000	340,000	3,019,000	46,849,000	0	50,208,000		283,103,000
出演料	47,810,000	47,810,000					0		47,810,000
仕入		0	0	800,000			800,000		800,000
給料手当	63,058,000	63,058,000	0	799,000	15,166,000		15,965,000		79,023,000
役員報酬	3,759,000	3,759,000	0	48,000	904,000		952,000		4,711,000
退職給付費用	4,503,000	4,503,000	0	57,000	1,083,000		1,140,000		5,643,000
法定福利費	10,885,000	10,885,000	0	138,000	2,618,000		2,756,000		13,641,000
福利厚生費	488,000	488,000	0	7,000	118,000		125,000		613,000
光熱水費	28,500,000	28,500,000			9,500,000		9,500,000		38,000,000

旅費交通費	210,000	210,000	40,000				40,000		250,000
消耗品費	4,555,000	4,555,000	50,000		825,000		875,000		5,430,000
印刷製本費	46,000	46,000	0		16,000		16,000		62,000
図書購入費	60,000	60,000			20,000		20,000		80,000
委託料	47,244,000	47,244,000	0	750,000	14,575,000		15,325,000		62,569,000
賃借料	5,296,000	5,296,000	0	0	249,000		249,000		5,545,000
燃料費	53,000	53,000			18,000		18,000		71,000
広告宣伝費	6,332,000	6,332,000	160,000		4,000		164,000		6,496,000
通信運搬費	1,485,000	1,485,000	60,000		202,000		262,000		1,747,000
租税公課	191,000	191,000	30,000	2,000	35,000		67,000		258,000
修繕費	3,000,000	3,000,000			1,000,000		1,000,000		4,000,000
支払手数料	3,193,000	3,193,000		408,000	175,000		583,000		3,776,000
負担金	170,000	170,000	0	3,000	58,000		61,000		231,000
經理費	511,000	511,000	0	7,000	173,000		180,000		691,000
保険料	270,000	270,000			90,000		90,000		360,000
雑支出	820,000	820,000					0		820,000
減価償却費	456,000	456,000			20,000		20,000		476,000
管理費								2,484,000	2,484,000
給料手当								799,000	799,000
役員報酬								453,000	453,000
退職給付費用								57,000	57,000
法定福利費								138,000	138,000
福利厚生費								7,000	7,000
旅費交通費								45,000	45,000
修繕費								150,000	150,000
印刷製本費								135,000	135,000
交際費								30,000	30,000
消耗品費								50,000	50,000
広告宣伝費								250,000	250,000
研修費								100,000	100,000
保険料								70,000	70,000
雑支出								200,000	200,000
<b>経常費用計</b>	232,895,000	232,895,000	340,000	3,019,000	46,849,000	0	50,208,000	2,484,000	285,587,000

当期経常増減額	△ 26,491,000	△ 26,491,000	△ 340,000	1,381,000	2,952,000	0	3,993,000	△ 2,472,000	△ 24,970,000
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	1,778,149	1,778,149	171,479	△ 677,371	△ 1,272,257	0	△ 1,778,149	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 24,712,851	△ 24,712,851	△ 168,521	703,629	1,679,743	0	2,214,851	△ 2,472,000	△ 24,970,000
一般正味財産期首残高									115,373,796
一般正味財産期末残高									90,403,796
II 指定正味財産増減の部									
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000					0	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000					0	0	3,000,000
III 正味財産期末残高									93,403,796

※事業区分について

公益目的事業（公1）…芸術文化、生涯学習及びコミュニティの振興に関する事業

収益事業等（収1）…宴会室における飲食提供事業

収益事業等（収2）…その他公益目的事業の推進に資する事業（チケット受託販売事業、施設利用者の利便性向上のための事業）

収益事業等（他1）…市原市から指定された施設の管理運営事業（公益目的以外の施設貸出事業）